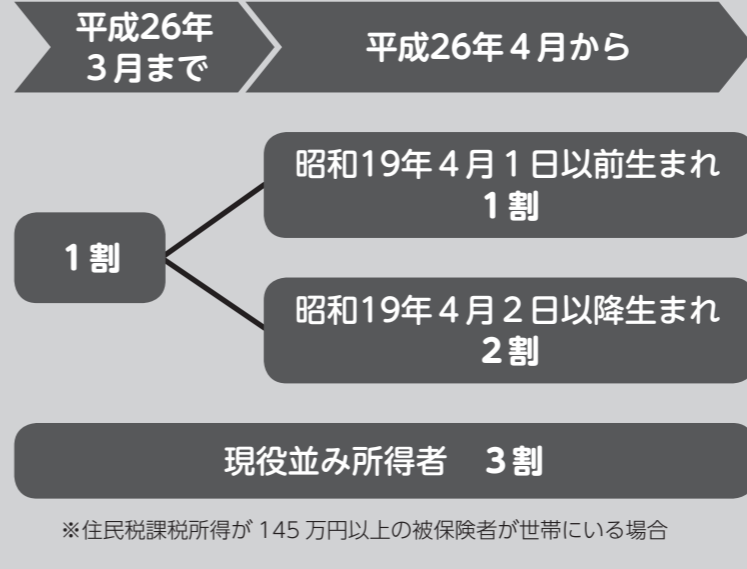


70歳〜74歳の国民健康保険の方へお知らせ

制度改正により、段階的に70歳〜74歳の国民健康保険の負担割合が変わります。70歳〜74歳の方の窓口負担は法律上2割となっておりますが、特例措置でこれまで1割負担とされてきました。平成26年度から、より公平

な仕組みとするためにこの特例措置が見直されることとなっております。(※平成26年度予算成立により確定しませんが、見直しに当たっては、高齢の方の生活に大きな影響が生じることのないよう、平成26

70歳から74歳の国民健康保険の窓口負担



年4月2日以降74歳の誕生日を迎える方から段階的に実施されることとなりました。それ以前に該当となった方については、引き続き負担割合が1割となります。これに伴い、3月末に高齢受給者証を再発行いたしますので、お手元に届きましたら記載事項等をご確認ください。なお、高齢受給者証については、誕生日前日の属する月の翌月から適用となります。(誕生日が1日の方はその月から、それ以外の方は翌月から適用となります。)

新たに該当となる方には、適用日からお使いいただけるよう、事前に郵送いたしますので、お手元に届きましたら記載内容のご確認をお願いします。

また、70歳以上の方の自己負担限度額が変更となる予定でしたが、平成26年4月以降も引き続き現行と同じ自己負担限度額となります。

● 問い合わせ先
税務町民課 ☎62-21112

鏡石町 児童ふれあい交流施設

建築工事

安全祈願祭



完成予想図

2月4日(火)午前10時から鏡石一小敷地内で鏡石町児童ふれあい交流施設建築工事に伴う安全祈願祭が行われ、遠藤町長をはじめ関係者約40人が出席しました。

施設は、鏡石一小新校舎の東側の位置に建設される予定で、木造二階建て、延べ床面積は約486㎡で、現児童館



▲工事の安全を祈願し、くわ入れをする遠藤町長

の約2倍の床面積となっております。施設は、震災の経験を踏まえ「安全・安心」を基本に、堅牢で安心感のある木造2階建てとなり、9月完成を予定しています。

施設には、放課後児童クラブを利用する児童が日常生活を行う専用のクラブ室、未就学児と保護者が交流するためのボランティア室などが配置され、災害時の避難場所としても活用されます。

● 設計者 福島県建築設計協同組合
● 請負者 株式会社渡辺建設 鏡石支店
● 問い合わせ先 健康福祉課 ☎62-21115

ま 鏡石町の期待の星 ちのホープ



お名前 小林 路一 さん(35)
お勤め先 扇屋 (本町)
業種 温泉旅館・ダイニング居酒屋

今日は、東日本大震災で被害を受け、3月からリニューアルオープンをした扇屋の専務として働く小林路一さんにお話を伺いました。

Q：どんなお店ですか？
リニューアルしたお店はちょっとおしゃれな感じになりました。今までのお客様に加え、女性や若い方など幅広い年代で満足していただけるような店づくりとなっています。もちろん、温泉も今まで通りありますし、肌がすべすべになりますよ。昼はランチ営業、夜は居酒屋として営業しており、海鮮などが特にお勧めです。

Q：この仕事を選んだきっかけは？
東日本大震災がきっかけですね。店が被害を受けて、親が店をもうやめようかと思っていることを聞いて、東京から鏡石町に戻りお店をやることに決めました。調理師免許を取得し、板前も経験しました。また、総務などの仕事もやっていたのでそれらを活かしていきたいです。

Q：将来の目標はありますか？
まずはお客さんが来てよかったと思えるような店づくりをしていきたいです。お酒も充実した店なので、そのお酒に合うおつまみも充実させていきたいと思います。そして、地元根付いた店となり、口コミで広がって町外からも来ていただけるような店になればいいですね。

Q：趣味などがあれば教えてください。
音楽が好きなので、フェスやライブに行ったりしています。今は忙しいですが、今年も行きたいと思っています。また、お酒(特にワイン)が好きなので、自分が飲んでおいしいと思うものをお店で提供していきたいと思っています。

Q：鏡石町について一言。
町の名産になるようなものが出て、それが全国に広がって町が有名になり活性化すればいいと思います。B級グルメなんかもいいですね。そのためには扇屋が起爆剤となり、町が盛り上がっていくように私も頑張っていきたいと思っています。

このコーナーにご協力いただける方を募集します。職場のホープをご紹介ください。問い合わせ先：総務課 ☎62-2111

こんにちは 保健師です



3月は「自殺対策強化月間」です

全国で毎年3万人を超える方が自殺で亡くなっています。

自殺は本人だけの問題ではなく、家族や周囲の多くの人達に大きな影響を与えます。

自殺を考えている人は、「死にたい」「死にたくない」という気持ちで激しく揺れ動いています。身近な人達がいつもと違う状態に気づく事で自殺を防ぐことにもつながります。

- 自殺のサイン
- うつ病の症状がある
 - 原因不明の身体の不調が続く
 - 酒量が増す
 - 安全や健康が保てない
 - 仕事の負担が急に増える、大きな失敗をする、失職
 - 職場や家庭でサポートが得られない
 - 本人にとって価値あるもの(職、地位、家族、財産等)を失う
 - 重症の身体の病気にかかる
 - 自殺を口にする
 - 自殺未遂の経験がある
- (厚生労働省「職場における自殺の予防と対応」より)

- 相談窓口
- ★ 心の相談
- こころの健康相談ダイヤル ☎0570-064-556 (月～金9:00～17:00)
 - 福島いのちの電話 ☎024-536-4343 (毎日10:00～22:00)
 - 町健康福祉課 ☎0248-62-2115 (月～金8:30～17:15)
 - 県中保健福祉事務所 ☎0248-75-7811 (月～金8:30～17:15)
- ★ 労働者の健康に関する相談
- 須賀川地域産業保健センター ☎0248-73-3723
- ★ 貸金業者に関する相談
- 日本貸金業協会福島県支部 ☎0570-051-051 (月～金9:00～17:30)

2014年3月1日[土]

扇屋 OHGIYA 新装 OPEN

温泉も新装 OPEN!

鏡石温泉 (有)扇屋会館

福島県岩瀬郡鏡石町本町324番地
☎0120-62-2026
TEL(0248) 62-2026 代
FAX(0248) 62-3970

営業時間
ランチ 11:30～13:30 (月～金曜日営業)
※祝日・土・日は予約制
夜 17:00～23:00 (22:00ラストオーダー)
定休日 第1・第3水曜日